

目 次

1	会長あいさつ	1
2	「まちの保健室」委員会 活動報告	2
3	支部活動報告	
	阪神南支部	3
	阪神北支部	5
	神戸東部支部	7
	神戸中部支部	9
	神戸西部支部	11
	東播支部	13
	北播支部	15
	西播支部	17
	但馬支部	19
4	兵庫県看護協会会館「まちの保健室」	21
5	「まちの保健室」体験・動画紹介	22
6	「まちの保健室」研修会報告	26
7	「まちの保健室」事業 実績報告	28
8	「まちの保健室」ボランティア表彰	35
9	委員紹介	36
	編集後記	37



「まちの保健室」 ボランティア再考

兵庫県看護協会 会長
成 田 康 子

新型コロナウイルス感染症対応も、5月から現在の感染症法上の2類から5類感染症とすることが決定され、医療現場では今後の対応への検討が進められています。

「まちの保健室」の活動は、コロナ禍で、一時休止しましたが、令和4年度は、感染状況を見ながら少しずつ活動が再開し、コロナ前の活動の20%まで回復してきました。コーディネーターをはじめ「まちの保健室」委員の皆さま、ボランティアの皆さまに、深く感謝いたします。中には、図書館や教会等、新規拠点での活動もあり、様々なところに県民のニーズがあることがわかりました。また、この3年間、活動ができなかったため、委員会では「まちの保健室」活動のイメージアップ用動画が作成されました。この動画を皆さまに活用していただき、「まちの保健室」のボランティアが増えることを願っています。

さて、平成15年「まちの保健室」事業経過報告書の中で、当時の兵庫県看護協会長の近田氏は、「まちの保健室」のボランティア活動の目的を「地域に出向く経験を通して、看護師としてのキャリア開発を図る」と示し、地域社会で要請されている健康問題に看護の立場から関わり、看護師自らも成長するという構図で活動が推進されてきました。今、まさに看護職は、医療だけでなく生活も見据えてケアを提供することが求められており、地域包括ケアを推進していく上でも、ボランティア活動はとても重要な役割を果たしています。「意義はわかるけれど、仕事が忙しくてとても休みの日にボランティア活動ができない」というのが、ボランティアで活躍してくださっている皆さまの本音だと思います。

近年、地域貢献・社会貢献活動、自然・環境保護活動、災害復興支援活動などのボランティア活動への関心が高まっていますが、一方で参加する時間がないなどの時間的制約が大きな課題となっています。このため、年次有給休暇の取得促進とともに、従業員が積極的にボランティア活動に参加できるよう、ボランティア休暇制度の導入が企業に求められています。従業員の社会貢献や多様な経験による、コミュニケーション力やリーダーシップ力の向上などの人材育成や、企業のイメージアップにもつながるとして、厚生労働省¹⁾も推進しています。施設の理解が進みボランティア休暇制度が多く施設で導入され、現場で働く看護職のボランティア登録が増えることを願っています。

兵庫県看護協会は、2040年に向けて地域包括ケアを一層推進し、「まちの保健室」を住民の通いの場における生活習慣病予防・重症化予防による健康寿命の延伸に貢献する場として活動していきます。これからもよろしくお願いいたします。

1) 厚生労働省（令和5年1月作成）：事業主の皆さまへ、ボランティア休暇制度を導入しましょう

委員名	委員長：西原 勝彦 副委員長：瀧野 都 委員：石原美智子・内藤 啓子・高田ゆかり・総毛 薫・野田 保代 藤田ともみ・武縄 幸子・森 優子・中前 日里・大迫しのぶ 中野奈保子
開催回数	8回
活動目標	1. 県民の視点に立ち、日常に基づいた「まちの保健室」活動を継続する。 2. 地域課題の多様化に伴い、支部ごとに特徴的な活動を創出し、受診勧奨・健康寿命の延伸を図る。 3. 社会状況に応じた、新たな健康相談等の方法を模索し、活動につなげる。
活動内容	1. 県民の視点に立ち、日常に基づいた「まちの保健室」活動を継続する。 1) 「まちの保健室」の活動は、コロナ禍の影響で、一時休止となったが、活動が増加。 実績：拠点活動 129 件（昨年 46 件）とコロナ前の 20%（昨年 10%） 活動ボランティア 205 名（昨年 61 名）、来所者 1,268 名（昨年 376 名）、 5 支部（昨年 4 支部） 出前隊 93 回（昨年 70 回）、来所者 1,905 名（昨年 1,024 名） 協会内 11 名、電話相談 26 件（12 件） 2) 委員の「まちの保健室体験」を令和 4 年 11 月 25 日 本会会館にて実施し、併せてボランティアのための活動イメージアップ用動画を作成した。動画は各支部に配布。 2. 地域課題の多様化に伴い、支部ごとに特徴的な活動を創出し、受診勧奨・健康寿命の延伸を図る。 1) 自施設内での「まちの保健室」やオンラインでの子育て支援等工夫を行った。 2) 図書館や教会での新規拠点活動や、訪問看護ステーションや介護施設の看護職による新規出前隊活動があった。 3. まちの保健室研修会の開催 テーマ：「まちの保健室看護ボランティアのメンタルヘルス」 開催日：令和 5 年 2 月 18 日 参加者：25 名＋（録画視聴 17 名） 講演：相談員のメンタルヘルス～より良い相談活動につなげるために～ 講師：フェリアン 副所長 津村 薫 氏
活動の評価	コロナの第 7 波の影響で一部休止がある中、昨年より活動が増加している。 コロナ禍では、医療機関勤務の看護職ボランティアの活動に制限があるが、再開拠点での活動報告からは、リピーター参加者の期待がうかがえる。
今後の課題	・活動拠点の見直し整理と活動再開に向けた支援と情報共有 ・医療機関勤務以外の看護職ボランティアの確保
看護協会への提言・要望	・「まちの保健室」活動拠点の見直し整理 ・「まちの保健室体験動画」活用による広報強化、新規拠点（集いの場）開拓

阪神南支部では、芦屋市・西宮市・尼崎市の3市で拠点活動と定期的に活動している出前隊の活動があります。コロナ禍に入り活動を休止している拠点や、各市、各団体主催のイベントも中止となり活動の機会が縮小しています。一日も早く以前の様な活動が出来る日が来ることを願いつつ、オンラインを活用した子育て支援の実施や、感染対策を考慮した対面での活動に取り組んでいます。

今回はクライストコミュニティチャペル武庫之荘の担当の方よりご依頼があり、コロナ禍で初となる対面での出前隊を行いましたので、その模様を皆様にご紹介したいと思います。

出前隊 クライストコミュニティチャペル武庫之荘

「まちの保健室」出前隊の依頼はかねてよりありましたが、今回一時的なコロナ感染状況の改善に合わせ、10月に活動を再開しました。

担当の方と調整を重ね、開催場所は近隣の幼稚園をお借りして行うこととなりました。

当日は感染対策を行い、地域住民の27名が参加されました。血管年齢測定器と体組成計を使用し、計測結果をもとに健康相談を行いました。相談の後は、ブレイクティータイムのスペースを設け、みなさんのふれあいの場となりました。



参加者の多くは、地域で実施している100歳体操の帰りに寄られた方が多く、健康意識が高い方が多かったです。「健康のために毎日歩いているの」等、話され和気あいあいとした雰囲気で行われました。



ボランティアスタッフも、看護師、栄養士、幼稚園教諭、看護学生の実習生も参加しました。ボランティアの方からは、初めての試みで、地域住民の健康に対する認識がわかり、楽しい時間が過ごせたという言葉頂き、是非今後も継続して開催できたらという声があがりました。また看護学生からは、大学の「まちの保健室」活動が休止している中で初めて現場を体験できたことは、いい学びになったとの感想がありました。

今後も、少しずつ地域住民の健康の一助となるように、活動の場を広げていきたいと思います。



拠点 くまの介護医療院

熊野病院は、本年度阪神南地区において新規拠点に加わり、活動させていただくことになりました。熊野病院はくまの介護医療院を併設しています。介護医療院は地域との交流の必要性があるため、この機会に病院として「まちの保健室」を地域交流の一環として活動させていただいています。

本年度の開催予定は3か月ごとの4回/年（6月・9月・12月・3月）としていましたが、新型コロナウイルス感染症発生の影響もあり、9月は開催できませんでした。

初めての試みで地域への周知方法に苦慮しました。院内での広報と共に地域へは自治会を通じてポスターを近隣世帯に配布しました。

参加人数

年齢 日付	75歳以上	65歳以上	65歳未満
6/30	10		
12/15	5	1	1
3/16	6	4	

まだまだ参加人数も少なく地域の方々の周知不足もありますが、今後も「まちの保健室」を通じて、地域において当院の周知とともに地域住民の方々の減災・防災、健康相談、保健指導の場として活動していきたいと思っています。

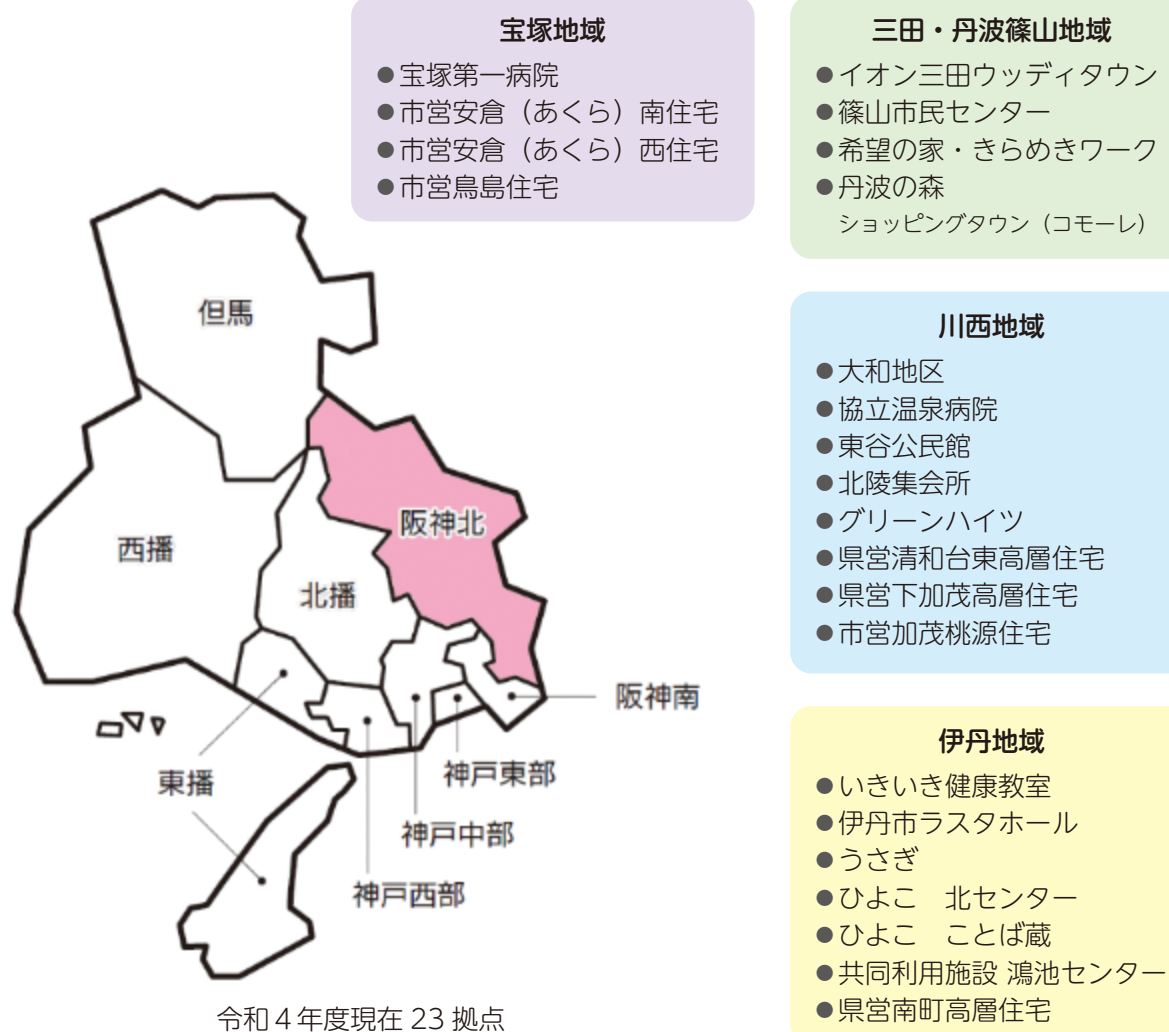


阪神北支部

阪神北支部では、丹波・丹波篠山・三田・宝塚・川西・猪名川町・伊丹の地区に活動拠点があります。コロナ感染拡大のため前年に引き続き、拠点活動も出前隊活動も計画通りには実行できませんでした。

委員会としては今年こそは活動できるように、各拠点と調整したり、活動方法を考えたりして、今までとは違った形で、感染予防体制を整えた状態での活動再開ができる方法を検討してきました。

平成 17 年度から拠点活動を開始した「まちの保健室」です。拠点も出前隊も順次増加してきました。



学校の保健室のように気軽に、自分の身体のこと、心のこと、妊娠・出産について、介護についてなど地域の人が不安や悩みを、気軽に相談できる場を提供しようと活動してきました。ボランティアが病院、施設に所属し、勤務していることで生活指導・服薬指導・健康に関する新しい専門知識があり適切な指導ができることや、看護職として相手を尊重したり、受け止めたり、傾聴することができることを強みにしてきました。看護職自身も、地域に出向くことで、その生活実態や社会資源を解ることができ、看護にフィードバックできるという利点もあります。

「まちの保健室」を体験して見えてきたことは、血圧・骨密度測定だけを目的に来られた人も話をしていくうちに、日常生活のことや不安に思うことを話されます。そういった不安や心配を気軽に相談できる場として、また、特に問題があるわけではなくても、話をされる内容に支援と適切なアドバイスができることもあります。活動によって、ボランティア同士のつながりができ、学びの場にもなっています。まだ活動に参加していない方たちにこの活動を伝えていきたいという思いがあります。

支部の「まちの保健室」活動を支えるものとして、コーディネーターが協会と連絡を取りあって、拠点・出前隊の地域との調整と、派遣するボランティア・機材等の調整を図ることでスムーズに活動ができます。多職種のボランティア参加を計画することで、より幅広い深い指導ができるようになってきています。ボランティア自身も来所者との交流、「ありがとう」「また来ます」の言葉や、笑顔でやりがいの後押しされ、自身の成長の場になっていることに気づき、それが活動源になります。

支部においては、「まちの保健室」活動の未経験者が多いので、コーディネーターとして、情報を提供し、委員会の交流で施設間の情報交換を促進していきたいです。また、多くの看護職に「まちの保健室」を知ってもらい、ボランティア活動に参加してもらえるようにしていきたいと思います。さらに、コロナ禍でも安心して活動ができる体制作りが出来ればと思っています。



川西地区 コロナ禍前の県営下加茂高層住宅での活動の様子

神戸東部支部

神戸東部支部は、神戸市中央区の災害復興住宅を中心に高齢者の健康相談等の活動を行っています。しかし、令和2年度・3年度はコロナ感染拡大の為、拠点活動は自粛、出前隊も主催者側からの開催中止などで活動は一切出来ませんでした。コロナ禍が続く中、社会情勢はできるだけ通常に戻そうとの動きがあり、「まちの保健室」も再開に向けて準備を行ってきました。十分な感染対策を施し非接触型の活動ができないかと思案を重ね、6月10日のコミュニティプラザを皮切りに活動を再開しました。

非接触型の活動では「ミニ講和」や「介護相談」「子育て相談」「認知症相談」を考えていますが、準備が整わずまだ行えていません。準備の一つとして、今年度のボランティアには認定看護師の登録を進めてきました。現在「緩和ケア」「がん化学療法看護」「感染管理」「小児救急看護」「認知症看護」の認定看護師の登録ができました。来年度はこの人材を活用して、安全に開催できるように計画を立てたいと考えています。

また、今年度から新たに開設された「東灘図書館」では、育児相談や子育て相談のニーズがあるのですが、従来の午後開催では来館しにくいとの声があり、今後は午前開催も視野に検討していく予定です。

東灘図書館

初回は、図書館の玄関先のスペースで「まちの保健室」を開始しました。通りすがりの方や図書館利用者の方々が、「まちの保健室」のコーナーに気づき参加してくださいました。実施した経験から、玄関先では寒さ対策ができないことと、来られた方が入口近くに並ぶことで自動扉が閉まらず図書館を利用されている方々に、寒い思いをさせるといった課題がありました。そこで、2回目からは、2階の会議室をお借りして実施しました。ただ、この場所は、図書館の利用者の方々の目に入らないためか、来られる方が1回目より減ってしまいました。図書館の関係者の方には、館内放送やホームページへの掲載といった対応をしていただきましたが、現在、今後の告知方法の検討をしているところです。



血管年齢測定



健康相談



脇の浜福祉センター

1月25日の拠点活動では、大雪で足元の悪い中、地域住民の方に参加いただきました。ほとんどが毎回来られるリピーターの方で、「コロナ禍で人の集まるところには出かけられないから、ここで話をするのが楽しみ」と沢山話をして帰られる姿をみて、高齢化で核家族化が深刻化している地域では、このようなニーズもあるのだと思いました。

3月には「認知症にならないために」のミニ講和を予定しており、地域包括ケアセンターの協力を得ながら地域活動を行いたいと考えています。



体脂肪測定



健康相談・雑談風景

コミュニティプラザ

昔から来られていた地域の方々には、久しぶりの活動開始に喜んでいただきました。しかし高齢化が進み、年々そのような方々も少なくなっておられることがわかりました。

血管年齢測定は毎年人気でありましたが、血管年齢を行うからだけでは来ていただけることにつながらないことがわかりました。来られた人は「ここに来ると看護職の専門的なことが聞ける」との声があり、病院に行くほどのことでもないが少し気になることや、病院の先生に聞けない事など気軽に聞くことが出来るのは、「まちの保健室」の役割だと考えます。



神戸中部支部

拠点 川崎病院

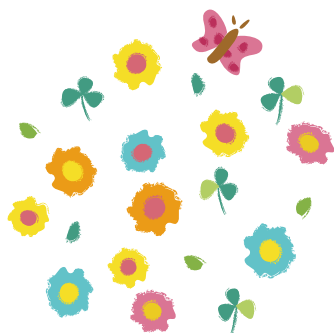
地域の方を対象に糖尿病予防・治療・療養を喚起する啓発運動の推進を目的とした川崎病院主催の「世界糖尿病デー」とのコラボレーションで、「まちの保健室」を開催しました。場所は、川崎病院から10分ほどの距離にある神戸の台所湊川市場に隣接する湊川パークタウンでの開催となりました。市役所等にパンフレットが張られた宣伝効果もあり、開催時刻前から何人も並んでおられる姿も見られるほど大盛況でした。

主催者側の誘導や整理券配布をすることで順番待ちの混乱がなく、また、コロナ禍ではありましたが来場者のご協力もあり、事前に検温チェックやアルコール消毒、感染予防対策を徹底したことでクラスターを起こすことなく、イベントを終了することができました。

「まちの保健室」は、骨密度、血管年齢、体組成計での健康チェックと、その結果をふまえた健康相談を行いました。無料で健康チェックができることに、びっくりされている方や喜んでいる方もおられて、コロナ禍だからこそ、健康チェックは大変ニーズが高いものと感じました。

健康相談を初めて担当したボランティアスタッフからは、「感激した」「また参加したい」という声や、「以前入院していた患者さんがお元気な姿で来られて生活している所を見られて嬉しかった」「あっという間で楽しかった」という声を聞くことができました。コロナ禍という状況でみなさん大変つらい思いをされていますが、このイベントでは笑顔あふれる空間にすることができ、少し癒しになれたのではないかと思います。

これからも、地域のかたの健康を支えるために、ご要望があれば「まちの保健室」出前隊で活動したいと思います。



拠点 JCHO 神戸中央病院 救急の日の催し

毎年9月9日は「救急の日」として、一般市民の方々に救急車の正しい利用方法や応急処置などの知識をPRする日になっています。そこで「救急の日」にちなんで、病院の正面玄関前ロビーにて通院患者さんや付き添いで来院された方を対象に、救急車の適正使用と救急安心センターこうべ「#7119」の利用方法についてお伝えすることを目的に、「まちの保健室」を開催しました。

コロナ禍であったため講義は行わず、掲示物やパンフレットを見ていただき、質問には個別に応じる形で実施しました。お一人お一人に関わる時間は短時間でしたが、175名の方にパンフレットを配布し、「#7119」の利用方法についてお伝えすることができました。「このパンフレット、電話の前に貼っておくね」という声も聞かれ、救急車を呼ぶときに備えて心づもりをしておかなくてはいけないという意識づけになったと思われます。今後も、コロナ禍でも活動できる「まちの保健室」を検討していきたいと思います。



ボランティア の声

久しぶりに地域の方々の声をきくことができ、私自身にとって貴重な時間でした。「まちの保健室」活動は、地域の方の安心感につながったり、健康への取り組みにつながったりと思うので、今後もボランティア活動を続けていきたいと感じました。

出前隊 花浄院北神戸店 健康イベント「イキイキ北区体操」

訪問看護ステーションで訪問看護師として働いており、地域の中で健康増進にかかわりたいと思い、今回初めて「まちの保健室」看護ボランティアに登録し活動しました。

花浄院北神戸店が主催する健康イベント「イキイキ北区体操」のサポートとして、会員のバイタルチェックと健康相談をするブースを立ち上げました。今回の健康イベントが集団で体操をしようという試みであり、参加された会員様はほとんどの方が、自分で自家用車の運転が可能ぐらいの生活レベルで、健康面に関してもかかりつけ医がいて、定期的にチェックしている65歳以上の方々でした。その中でも、摂食は充分だが太れないという男性が数名おられました。時間が限られていたため、その方々の食生活の情報を十分にうかがえませんでした。短時間でもいろんな健康相談に対応できるスキルが持てるように、今後も活動を通して情報を増やしていきたいと思っています。



神戸西部支部

コロナ禍での活動

神戸西部支部は、例年同様に13の拠点と出前隊の活動を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症への対応のために病院で働く看護職の拠点活動への参加が大変厳しい状況が続き、準備を進めていても直前で中止をせざるを得ない状況となりました。そのような中ではありますが、神戸市看護大学の拠点活動の継続、神戸常磐大学の拠点活動の再開等、各拠点で様々な工夫や調整を図りながら、できる活動は可能な限り開催を継続することができました。また、委員会メンバーも可能な限り開催できるように検討を重ねた結果、新たな出前隊の依頼も複数件いただくことができました。

今回は、活動を再開した神戸常磐大学の拠点活動と、今年度新たに行った出前隊について報告します。

神戸常磐大学の拠点活動

大学の地域貢献活動である『健康ふれあいフェスタ 2022』のイベントで「まちの保健室」を開催しました。3年ぶりの開催となりましたが、当日は515名の参加者があり、大学の大ホールで行った「まちの保健室」には、95名の方に参加していただきました。感染状況が完全に収束していない状況でしたが、感染予防対策を徹底して実施しました。

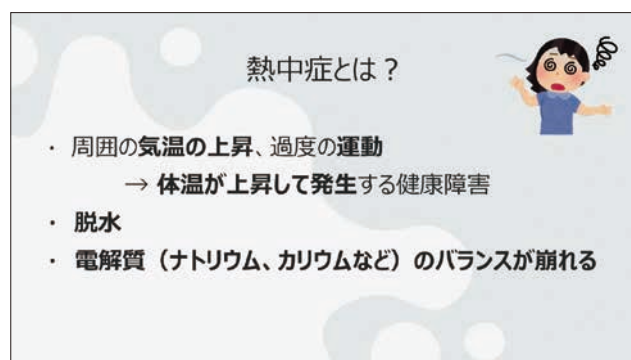
健康相談の企画は、①ミニ講話・フレイルチェック、②フレイル体操、③健康相談の流れでおこないました。ミニ講話は、少人数制とし、資料をもとに食事・栄養、運動、社会活動の3つの柱から、日頃の生活を振り返る内容としました。フレイルチェックは、握力測定、下腿周囲長、椅子からの立ち上がり、1m歩行速度を参加者ご自身で実施し、記録をしてもらう方法でおこないました。フレイル体操は、踏み台昇降やタオルダーツ、ストレッチなどを実際に体験していただきました。参加者は高齢の方が多いため、踏み台昇降台の設置場所を配慮したり、椅子は重量感のあるものにするなど、安全面に注意をしました。また、フレイルチェックの追加事項として、階段10段での息切れの有無や過去1年間に転んだことがあるかを参加者に確認し、他にも認知症や薬のポリファーマシーについてなどチェックをしながら健康相談を行いました。学生ボランティアも参加しましたが、参加者のサポートをするなど、地域の方たちとの交流や地域で生活する住民の方たちのニーズを知る機会にもなりました。さらに、当日は、子育て支援の活動も別室で開催しました。親子が3組と、父母と祖父母を含めた家族での来所が2組あり、お子さんの身長と体重を計測しました。

(報告者：神戸常磐大学 阿児 馨)



出前隊 「熱中症」の出前講座

図書館から依頼をいただき、「熱中症」に関する出前講座を行いました。厚生労働省の熱中症のパンフレットを中心に熱中症の症状の特徴や予防について説明した後、参加者の方々と様々な意見交換をおこないました。「自分が夜中に気分が悪くなった経験が数回あるから、それから枕元に水筒を置くようにしています」「水分を“こまめに摂る”っていうのは難しいけれど、ペットボトルに入れて何本飲んだかわかるようにしておいた方が飲みやすいよ」など、これまでご自身が経験されてきた熱中症の症状について共有をしたり、熱中症予防のために日頃の生活で気を付けていること等を話し合いました。また、図書館の方からも、熱中症予防のための料理の本や、熱中症を吹き飛ばす怖い話の本の紹介もありました。このような地域の方々のニーズに合わせた出前講座を、今後も続けていきたいと感じました。



出前隊 地域の体操教室での健康相談

今年度より、訪問看護ステーション神楽さんが、地域で行われる体操教室で健康相談を行っています。地域で行われる体操教室の参加者の多くが高齢の方々に、体操教室の前に血圧を測りながら、日頃の生活の様子や体調の変化を確認したり、お薬の相談にのったりしました。このような地域の活動に看護職が参加して、気軽に相談にのれる機会を提供することで、より看護を身近に感じてくれるのではないかなと期待しています。

ボランティア募集！

西部支部ではさらなる活動の再開を目指してボランティアを募集しています。あなたが日頃何気なくおこなっている活動も「まちの保健室」の活動ではありませんか？ ぜひ一緒に「まちの保健室」を盛り上げて、地域の方々の健康支援を一緒におこなっていきましょう！ お待ちしています！

東播支部

with コロナ時代になり、感染対策をしながら「まちの保健室」活動を続けてきました。

今年度は、ほとんどの拠点・出前隊も活動を再開することができました。また、東播支部の「まちの保健室」研修会も開催できました。

兵庫県立大学地域ケア開発研究所

ウィズコロナ時代の地域づくりと ICT 利活用～新時代の「まちの保健室」でできること～

本研修会は、現地と WEB と併用開催であった。神戸大学 龍野洋慶 氏から、在宅要介護者らにリストバンド型活動量計を用いた研究、COVID19 拡大下における施設入所者の遠隔面接と、こころのありように関する調査の紹介がありました。

「まさか、このようにテレビでお話できるとは、息子を見ながら、そんなことを今まで考えたことが無かったからね。それは嬉しい、嬉しいよりもびっくりしましたね」という入所者の言葉や、遠隔面会を導入する際の「率直な思いはやってみないと本当にわからない、何事も最初からやらずにするよりやってみてどうかです。利用者様がどう思われるのか、どう変わるのか、それはもう私らの気持ちではなくて」という言葉が印象的でした。

また、ICT 活用による～医療職協働～オンライン「通いの場づくり」への期待として、兵庫県立大学地域ケア開発研究所 林 氏からの講義がありました。



(兵庫県立大学地域ケア開発研究所：令和4年9月3日)

西明石サポーターングファミリー

「西明石サポーターングファミリー」は、このコロナ禍でも高齢者の方々に積極的に集まり活動されておられた中で、「まちの保健室」は新型コロナウイルス感染症の影響で休止していましたが、今年度より拠点活動を再開させていただくようになりました。毎月ふれあい会食と言われる、お食事会で集まりをされているところに、体組成測定と健康相談を実施しました。集まられている高齢者の皆様は、健康には全く気を付けておられる人ばかりで健康相談など無いよう思いましたが、「まちの保健室」として行かせて貰うと、健康に関する相談をうけました。今後も、感染対策をして気軽に健康相談をしてもらえるようにしていきたいです。

江井島総合市場

「江井島総合市場 憩うところ」では、出前隊として骨密度測定、健康相談を行いました。食事や運動習慣について伺いましたが、来所される方のお悩みは、健康面以外に生活面において「誰かに聞いて欲しいが話せる人がいない」と、一人で悩みを抱えておられる方が来られました。お話を傾聴することで「話をきいてもらってスッキリした」と、笑顔で帰られる方、この活動がきっかけとなり福祉に繋がった方もおられました。外に出て誰かに話を聞いてもらうきっかけにもなっているようです。



ほくたん

2年ぶりに再開となった「ほくたん」は、小地域福祉活動の一環として社会福祉協議会の方と共に開催しています。以前より参加者に健康手帳を配布しており、今回の再開で、リピーターの皆さまがその手帳を持ってきてくれたことに、ここでの「まちの保健室」活動が必要とされていることを実感することができました。その手帳には日常生活で困ったこと、健康相談等が個別に記載されています。ある参加者の方が、健康手帳を持って受診された際に医師より「健康手帳が診察の参考になった」と声を掛けてくださいました。健康手帳はこのような場面で活用される大事な役割を担っていると感じました。



今後も地域住民の健康増進・維持のサポートができるよう活動していきたいと思います。

北播支部

北播支部「まちの保健室」は、6か所の拠点があります。道の駅みき（三木市）、白雲谷温泉ゆぴか（小野市）、やしろショッピングセンター Bio（加東市）、アステア加西（加西市）、西脇病院クローバーの会（西脇市）、なごみの里山都（多可郡多可町）と、北播全地域を網羅しています。

コロナ禍に於いて今年度も、感染者数が減ってきたと思えば、また第7波8波と押し寄せる感染拡大により、拠点活動再開のタイミングが取れない状況が続きました。このような中で、3年ぶりに2か所で出前隊活動を行うことが出来ました。

はりちゅうの日

兵庫県播磨中央公園に於いて、3年ぶりとなる令和4年11月20日に“はりちゅうの日”のイベントが開催され、健康チェック、健康相談を実施しました。

北播支部「まちの保健室」委員を含む8名のボランティアが、地域の方々と触れ合い、健康について語り合うことが出来ました。野外イベントで換気は充分でしたが、まだまだコロナ感染への予防対策を続ける必要がありましたので、ボランティアはマスクとフェイスシールドを使用し、物品は使用毎に消毒しました。ブースに来ていただいた方にもマスク着用と手指消毒を協力していただいた上で測定し、健康相談時には向き合わないなどの工夫をしました。

「まちの保健室」に75名の方が来られました。拠点では比較的高齢者の方が多いのですが、子供連れのご家族など若い年齢層の方も多く、育児相談や産後の栄養相談などもありました。様々な経験を持つ看護職がボランティアとして集まり、様々な相談に対応する中で、施設内の役割では味わうことが出来ない“看護のやりがい”を得ることが出来ました。



西脇いきいきふれ愛まつり

西脇市市民交流施設オリナスホールで、令和4年11月26日に“西脇いきいきふれ愛まつり”が開催されました。

新型コロナウイルス感染者が少しずつ増加し、第8波到来が懸念される中、血圧測定などの来場者の方と接触するような各種測定は行わず、健康相談や健康手帳を含む資料の配布、防災グッズの展示と説明といった内容で活動し16名の方が来られました。特に、防災グッズに興味を持たれる方が多く、ボランティアの説明も力が入りました。中には高齢の方が、食事や運動などの日々の生活のことから、入院中のエピソードも踏まえ多くのことを語られ「話を聞いてくれてありがとう。がんばってリハビリします」と、笑顔で帰られる場面がありました。ボランティア自身も、「出前隊として、地域の方々と直接コミュニケーションを取りながら活動を再開できたことをうれしく思う」と、笑顔いっぱいでした。

コロナ禍で交流の機会が減る中、「まちの保健室」活動の必要性や重要性を改めて感じ、地域住民のライフサポーターとしての活動を増やしていきたいと思いました。

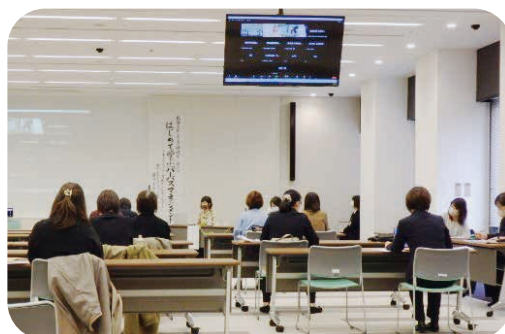


北播支部まちの保健室講演会

日本終末期ケア協会 代表理事 訪問看護ステーションこころんく代表 アステッキホールディングス株式会社取締役 COO 看護師/認定ブランドマネージャー 岩谷 真意 氏を迎えて、『はじめて学ぶ「パーパスマネジメント」～キーワードは“可能性を処方する”～』をテーマに、北播磨総合医療センター会場とWebで、令和5年2月11日に講演会を開催しました。

パーパスとは存在価値であり、自分を知り固定観念にとらわれず認知バイアスとうまく付き合いながら、多様な価値観に気づき受け入れることが大切であることを学びました。

講演後のディスカッションでは、自分が大切にしていることや課題を語り、講師からアドバイスをいただきました。“看護師が幸せな社会を”という締めくくりの言葉が、参加者44名全員の心に響きました。



西播支部

西播支部「まちの保健室」活動は、兵庫県で初めての取り組みである「認知症対応型まちの保健室」のモデル事業を実施する等、最大で年間拠点 24 か所、出前隊 79 か所、ボランティア数 452 名で活動をしていました。拠点活動の利点は、誰でも気軽に看護職に健康相談・介護相談ができ、自分や家族の健康管理に「気づき」をもってもらえることです。しかし「まちの保健室」活動は対面での活動のため、新型コロナウイルス感染拡大に伴い令和 2 年からは活動を自粛しています。

令和 4 年度は、11 月 19 日に多職種を対象としたボランティア研修を開催することができ、37 名の参加がありました。看護職、介護福祉士、ケアマネジャー等多職種の参加がありました。

テーマ：認知症の方と支援者の心をつかむケア

講師：姫路中央病院 認知症看護認定看護師 高橋 学美 氏



パーソン・センタード・ケアについて、事例を通じて具体的に考えることができたり、グループワークでは、「多職種の方の話を聞くことで、自身が気づかなかった実際の在宅での関わりや、考え方を学ぶことができ、普段の業務に生かしていけると思いました」という意見がありました。病院、施設、在宅のそれぞれの立場でのケア方法を学べる貴重な機会となりました。

「感情を伴った記憶は残りやすいということも念頭におき、本人の思いを傾聴し、情報を集めてニーズを見つけることの大切さ、生活歴を大切に、関わりを持つことを学びました」という意見もありました。



笑顔＋誉めること、
自分で選択してもらうこと、
ご本人の『なぜ?』を
知ることが大事ですね !!

「看護の日」のイベント活動にて

令和4年5月14日 午前10時から正午まで姫路駅前ににおいて、「看護の日」のイベントを開催しました。今回は新型コロナウイルスの感染拡大により3年ぶりでした。以前は各種測定（血圧、体組成、骨密度、血管年齢）による健康チェック、健康相談、栄養相談等を行い、住民の皆様と交流を深め、看護への関心や理解を深めていただくことを目的として活動していましたが、コロナ禍により、看護協会の活動内容や地域住民へ向けたリーフレットやグッズの配布を行い「看護の日」のPR活動を行いました。

足を止めて興味深く話される方もいて、「まちの保健室」活動についても知ってもらえるイベントとなりました。



委員の声

- 健康管理に「気づき」をもってもらえることに加え、施設で働いている若い看護職にとって「地域」を知るきっかけにもなっています。また、ボランティア活動に参加する中で人とのつながりが広がり、新しい発見もあり人として成長できたのではと思っています。

活動を自粛する中、今後もコロナウイルスが無くなることはないと思いますが、極端に恐れることなく感染対策を実施しながら「With コロナ」で活動を再開していきたいです。

まずは、参加者がはっきりしており、予約制で人数制限もできる出前隊から始めていけたらと思います。

- 出会いは、私が50歳代にさしかかったころ、5年ほど先輩のMさんからの誘いでした。「ここまでこの仕事続けられたのだからあとは社会連携よ」という言葉でした。もともと集中治療系の勤務が長く、退院支援や指導など病棟経験は6年ほど。しかしながらこの退院指導が私の武器となりました。看護職は、医療者側の立場で偉そうなことを言っていますが、いやいやこれは今の私にも言えること、看護職も生活体であることに気づくことができました。

西播支部の「まちの保健室」委員会はコーディネーターさんを中心に、任期が過ぎても、委員として活動に参加し、勤務する病院や施設を超えてのつながりがあり、看護学部の大学の先生と、学生さんたちとともに「まちの保健室」活動を展開し、学生さんたちの良きロールモデルとしてまた、若い学生さんたちのコミュニケーションの取り方など逆に教えていただくこともあります。

今後も地域の一員として、何かしらの健康相談にお答えできるよう暮らしていきたいと考えています。

但馬支部

但馬支部には、北但と南但に9か所の拠点がありますが、昨年と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により、拠点での活動を行うことができませんでした。そのような中でも、休止中である拠点の事務所から電話で、「まちの保健室」に相談者が来られていると連絡がありました。授乳中ですが、痛みと腫れがあり困っているという相談内容でした。すぐに、助産師のボランティアに連絡し対応したことで、とても喜んで頂くことができました。休止している拠点活動ですが、「まちの保健室」の存在を知って頂けていたことに、とても喜びを感じることができました。この経験を活かし、今後の拠点活動に繋げていけたらと考えています。

今年度但馬支部では、ボランティアの皆様のご協力のおかげで、感染対策を行いながら5か所で出前隊を開催することができましたので、ご報告させていただきます。

老人会の方に向けてのミニ講座

小田井公民館にて老人会の方13名に向けて、血圧測定や体組成計測を行い、嚥下機能低下予防のためのミニ講座「健康長寿は飲み込み力から」を実施しました。参加者の中には、以前誤嚥性肺炎で入院経験のある方もおられ、ミニ講座の必要性を身近に感じて頂くことができました。

グランドゴルフ大会

但馬老人クラブ主催のグランドゴルフ大会にて、血圧測定や体組成計測、身体測定や健康相談を実施しました。24名が参加され、健康意識の高い方が多く参加されていました。

精神障害者施設「のぎく」での健康相談

地域活動支援センターから女性の健康についての話を聞きたいと、出前隊の依頼があり、助産師と看護師がペアとなり「まちの保健室」を開設しました。障害のある方を対象としている事で不安もありましたが、自己紹介やゲームで交流し、楽しい時間を過ごしました。初回でもあり、相談は少なかったですが障害のある方の健康指導ができる事は、「まちの保健室」の新たなエリアを広げることになると思われます。

コミュニティセンター文化祭

小坂コミュニティセンター文化祭にて26名の参加がありました。文化祭に参加された方を対象に、血圧測定や体組成計測、健康相談を実施しました。



まるごと感動市

3年ぶりに、まるごと感動市が和田山イオンモールにて開催され、86名の参加がありました。血圧測定や体組成計測、健康相談、健康財団の運動指導士による運動講座を実施しました。健康運動指導士の方には、計測介助と個別指導をして頂きました。高齢者向けの筋力トレーニングや姿勢の矯正を実施。高齢者は激しい運動ではなく、自分の体力に合った負荷をかけて、無理なく継続して行くと良いと説明しておられ、とても参考になりました。



但馬支部のコロナ禍での委員の活動について

去年に引き続き、但馬支部の委員が3グループに分かれて、新型コロナウイルス感染予防をテーマに「マスク・換気・消毒」について3つの紙芝居教材を作成しました。「まちの保健室」委員会の中で、紙芝居教材を披露しました。今年度は、使用できる機会がありませんでしたが、今後の「まちの保健室」活動で使っていただけたらと考えています。



兵庫県看護協会会館「まちの保健室」

兵庫県看護協会会館内で行ってきた「まちの保健室」は、コロナ禍・休止状態を経てから令和3年10月25日から再開し、毎週月曜日13時から15時まで、事前予約制で行っています。

コロナ禍の影響か利用者が増えず、令和4年度は「県民だより」に広報記事を掲載していただきました。現在も健康相談に来られる方は少ない状況ではありますが、相談者には、血圧測定、血管年齢計測定や兵庫県作成のフレイルチェック表を用いて、現在の生活状況や健康に関する不安など相談に対応しました。利用された方からは、一人暮らしで久々の外出、ここで話を聞いてもらえてよかったとの声を聴けました。

また、コロナがはじまった当初、来館での相談はできないため、特別電話での健康相談をしました。一旦、令和3年10月31日で終了しましたが、それ以降もチラシを見たなどで相談電話は今もあり、昨年の件数より増えています。受診相談やコロナ禍での孤独、メンタル不調、受診後も症状が改善しない不安等の相談がありました。中には複数回ご利用いただく方もいます。

毎週月曜日
開催中

まちの
保健室

事前
予約制

病院に行くほどでもないけど、
ちょっと気になることがあれば
何でも ご相談ください。

・健康相談(1人20分程度)
・血圧測定 ・血管年齢測定

測定のみ
でも可

開催日	毎週 月 曜日 (祝日は除く)
相談時間	午後13時～15時
開催場所	兵庫県看護協会 会館1階エントランス
TEL	078-341-0255 公益社団法人兵庫県看護協会 まちの保健室 担当

注1 予約電話は、平日(土日祝は除く)9時から17時30分の間にしてください。
注2 予約が難しい場合でも相談をお受けできますが、予約者優先となりますのでご了承ください。
注3 当日の体調不良は参加できません。参加をキャンセルしてください。
※参加時はマスクの着用をお願いします。

まちの保健室開催ちらし

電話相談件数

年 度	令和2年度 ※122日稼働	令和3年度	令和4年度
件 数	10 件	12 件	26 件

今後も、協会会館での「まちの保健室」により多くの来館をお待ちしております。

兵庫県広報紙

県民だより HYOGO 6
JUNE

ご当地
で、エールを送る
グラブ

兵庫県公式

病院へ行くほどでも
ないけれど、
ちょっと相談したい

まちの保健室へ
来てください

心や体の健康について、気になることを看護職に気軽に相談できます。血圧、血管年齢の測定も実施しています。要事前申し込み。

のぼりが
目印です

「まちの保健室」

相談 時間	毎週月曜 13:00～、13:30～ 14:00～、14:30～ (祝休日を除く)
開設 場所	県看護協会会館 1階エントランス (神戸市中央区)

申向平日9:00～17:30に②で
(公社)兵庫県看護協会まちの
保健室担当へ
☎078-341-0255
☎078-361-6652
兵庫県 まちの保健室

令和4年6月 県民だより 掲載記事

「まちの保健室」体験・動画紹介

コロナ禍で「まちの保健室」活動を休止している拠点多く、未経験のボランティアや支部会員が増えてきています。令和3年度の「まちの保健室」委員会主催研修会では、活動再開に向けて、「まちの保健室」ボランティア活動のイメージができ、活動がもっと身近に感じられるような取り組みが課題に上がりました。実際、活動の経験が無い委員や活動を休止している委員から「測定機器の使い方や健康相談に応える自信が無い」などの声がありました。

そこで今年度、地域住民11名の方に参加のご協力をいただき、兵庫県看護協会会館を使用して委員が「まちの保健室体験」を行い、その様子を動画撮影しました。

目 的：まちの保健室委員が「まちの保健室体験」を通し、活動の理解を深め、動画撮影を行う。

日 時：令和4年11月25日 14:00～15:10

内 容：地域住民対応（事前予約された11名）

受付、フレイルチェックシート記入、血管年齢測定（2種類）、骨密度測定、健康相談の各コーナーに委員がボランティアとして対応

撮 影：受付～各測定～健康相談の場面



動画撮影の振り返りと感想

- 測定結果が悪い場合、どのように声を掛けたらよいか不安がありました。測定場面でフォローするのは難しいため、健康相談コーナーでリーフレットなどを活用し、対話しながらフォローしました。
- 参加者の人数により、動線を考えた会場設定が必要であることを確認できました。待ち時間を少なくするため、人の流れを見て健康相談のコーナーを増やすなど、臨機応変な対応が出来ました。このような対応をするためには、余裕のあるボランティア数の確保が必要であると実感しました。
- 「まちの保健室」に足を運んで来られる方は、健康意識が高く、ボランティアとしてアドバイスをするというより健康のために取り組まれていることを聞かせていただくという姿勢が大切である。ボランティアが傾聴することで満足されるように感じていました。
- 初めてボランティア体験を経験し、こんなに楽しいとは思わなかったです。ボランティア経験はありますが、あらためて元気をいただきました。また、チームで実践する楽しさが実感でき、もっと多くの看護職にこの楽しさを体験してほしいという気持ちになりました。

やさしさに包まれた「まちの保健室」の雰囲気と、活動の楽しさを反映した『まちの保健室体験動画』を作成することが出来ました。今後、完成した動画をファイルシェアにより、各支部まちの保健室などに送信する予定です。支部研修などで活用していただき、多くの看護職に動画を見ていただき、新たなボランティアが増えることを願っています。



まちの保健室委員会委員一同 ※当日3名欠席

「まちの保健室」～初めてボランティアを経験する皆様へ～

兵庫県看護協会 「まちの保健室」 ～初めてのボランティア～

今回作成した動画については、受付から測定、健康相談までの流れの動作の一例になります。測定は血管年齢測定・骨密度測定を行っています。各支部・各拠点によって測定項目や手順の違いはあると思いますが、新しくボランティアの一員になる方へ「まちの保健室」の説明の際に、イメージを伝える際の一つのツールとしてご活用いただければ幸いです。

(動画時間：6分)

受 付

- ① 受付にて配布物等（健康手帳・フレイルチェックシート等）の提供
- ② 記入台への案内（記入がある場合）
- ③ 測定への案内

※フレイルチェックシートとは、兵庫県が作成している健康チェックシートです。必要に応じて活用しています。



血管年齢測定

- ① 年齢・性別を入力
- ② 息を整えて、左手の人差し指を軽くセンサーに挟み、測定を開始する
- ③ 18秒ほどで測定終了
- ④ 結果印刷
- ⑤ 次の測定へご案内

※測定するには、会話はせず安静で計測を行います。
※ipadで行う血管年齢測定(アイハート)もあります。
※結果の相談については、健康相談で行います。



骨密度測定

- ① 測定は素足で行う為、どちらの一方の靴下を脱ぐ
- ② 測定部位にジェルを塗布し、足置き台に足を置く
- ③ バルーンを両側から挟む
- ④ 年齢・性別を入力し測定を開始
- ⑤ 測定結果がプリントされる
- ⑥ ジェルをふき取り、足元を整える
- ⑦ 健康相談へご案内

※靴下を脱ぐ際等には、姿勢が不安になりやすい為、見守り等転倒防止が必要です。



健康相談

測定の結果を基にアドバイスや健康に関する悩みなどに対して相談に対応する。



初めてのボランティアは不安もありますが、機器の取り扱いや健康相談もチームでカバーし合い、利用者さんのニーズに答えていくことが出来ます。

病院や施設の外での活動は新鮮で、自分自身の学びとなることも多々あります。



みんなで楽しくボランティア活動を
していきましょう

作成 兵庫県看護協会
令和4年度まちの保健室委員会

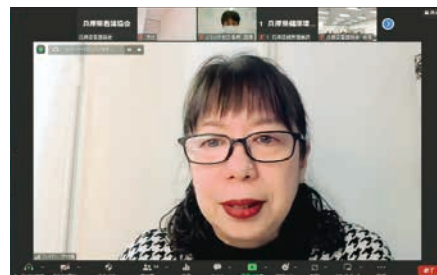
「まちの保健室」 研修会報告

開催日 令和5年2月18日(土) 13:30～16:30

テーマ 相談員のメンタルヘルス ～より良い相談活動につなげるために～

講師 フェリアン 副所長 津村 薫 氏

「まちの保健室」委員会委員長の西原勝彦氏が、研修に先立ち「コロナ禍において医療従事者は、日々大変な状況の中、勤務している。そのため、まちの保健室活動もあまりできていない現状にあるが、本研修会では、メンタルヘルスについて学び、日々の活動に活かしてほしい」とオンライン受講者へ開会のあいさつをされました。



津村氏による講演は、「まちの保健室」における活動や、看護の通常業務の中での相談の場を想定した講演内容であり、ストレスに関する基本的知識やストレス状態におかれた人の状況そして対処方法について講義をしていただきました。

まず、心と体が一体的なものであることから、体を動かすことの重要性について学び、実際に体を動かしました。研修室とオンライン参加の皆様が同時に先生の指導で体操をし、リラックスの方法を学びました。

また、自身のストレス反応に気づけるようになるために、身体的ストレス反応・心理的ストレス反応・行動的ストレスについて、日常場面からわかりやすく説明いただきました。

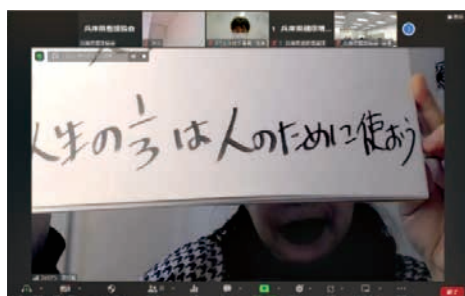
続いて、ストレスによる反応、①鬱状態になる落ち込み型②強迫神経症になるイライラ型③疲れを感じられない無自覚型 といったタイプとタイプ別対応策の説明があり、受講者は、ストレスと上手く付き合う対処方法を見いだせたのではないかと思います。

リラックスのための呼吸法

- 1 2 3 で鼻から息を吸う
- 4 で息を止める
- 5 6 7 8 9 10 で 口から細く長くゆっくり息を吐く



津村講師より、ストレスと上手につきあうための様々な方法や「助け上手」以上に「助けられ上手」になることの重要性を教えてくださいました。また、先生の大事にしている恩師からの言葉「人生の3分の1は人のために使おう」を紹介していただきました。研修で学んだことを活かして「まちの保健室」の相談においては、ボランティアの心を大切に、自分自身の心と身を整えた上で、利用者に寄り添った相談対応ができればと思います。



グループワークからの意見

- 職場でのカンファレンスは「事象」を語り「想い」を語れていなかった。「想い」を上手に表出できると、職場内で相互に癒すことができるのではないかと。「事象」を語り、怒りなど負の感情を再燃させていたかもしれない。
- 「まちの保健室」活動が楽しかったという若い職員がいました。職場での殺伐とした気持ちが表れる体験ができた。病院では味わえない看護の魅力があった。
- 季節によって落ち込みがあると自覚しているが、その時期が来ると自分なりに注意して対処しながら暮らしていると言う相談者がいた。また日照時間の減る11月、梅雨の6月が調子悪い人、2月3月の年度末の異動等のストレスが高く調子が落ちると話す人がいた。
- 「まちの保健室」の活動にはストレスなし（楽しいし、やりがいがある）。ただ、「まちの保健室」活動の中でも「講義」を頼まれると、慣れていないことや、期待に添えるだろうかという不安がありストレスを感じる。
- 講義ではストレスをコンテナに入れる話があったが、ストレスを忘れるのとはまた違うのだろうなと思った。グループでは引き出しを多く持って、ストレス自体をスパイスにしていけたらいいなという話になった。

講師からのコメント

- ボランティア活動そのものの意義を意識しながら行うか、意識せずに行うかでストレス耐性は大きく異なる。意義を感じながら行うことが秘訣なので、意義をうまく伝えていけたらいい。
- 自分がどのタイプか知ることは、早めに対処でき、予防につながるため力になる。季節による変調を意識できているのは、自分の身体の声が聞こえているといった気づきがある。北欧の白夜のある国では、冬の日照時間を補うため、人工的な明かりを取り入れ対処している。人工的な明かりのもとで生活して、調整することができる。3月4月は別れの時期で寂しさを感じることもあるが、その時を上手に悲しみ、別れる人の幸せを祈りながら別れるようにしている。
- 「まちの保健室」がストレスにならないということは、良い感情で活動できている。一方、講義等の依頼については、普段と違うこと、仕事をしながらボランティアでの準備に時間がかかることなどの負担があると思う。相手がどのようなことを知りたがっているのか、ニーズアセスメントをすることは大切。手間はかかるが、ニーズに合わせて内容を組み立てると満足度があがる。大変なことであるが、丁寧な活動をされていることはすごいし、いいことである。

兵庫県看護協会 成田会長あいさつ

研修後、参加者の笑顔が印象的であった。講演での学びと、グループワークで仲間と色々な思いを共有できたことが良かったと思う。また、来年度の県の予算についてであるが、県では今年度同様の予算を確保していただいた。「まちの保健室」にかかる県民の期待の表れが県の予算として反映できたのだと考えている。

活動している方自身が「まちの保健室」活動を通じて、仕事への活力をもつことができるのではないかとと思う。今後の「まちの保健室」活動に期待している。

まちの保健室委員の感想

津村先生には「まちの保健室」活動を念頭にお話しいただいたが、医療従事者であることも考慮しての助言もあったので、「まちの保健室」だけでなく、広く会員の皆様に聞いていただきたい内容でした。また、ストレスに対する自分自身の気づきを促す内容であり、これは支援者と相談者に対しても活かせる内容でした。グループワークでは職場の悩みなどの話し合いができ、明日から元気に働けそうと思いました。

「まちの保健室」事業 実績報告

「まちの保健室」拠点開設状況

阪神南支部

窓口：西宮市立中央病院 大内 智恵

	拠点名	内 訳
1	園田学園キャンパスいきいき	健康相談
2	おおくま病院	健康相談／介護相談
3	協和マリナホスピタル	健康相談／健康講座
4	西宮市大学交流センター	健康相談
5	くまの介護医療院	健康相談
6	カンガルークラブ	子育て支援
7	市営南芦屋浜団地	健康相談

阪神北支部

窓口：兵庫県立丹波医療センター 菅村 幸代

	拠点名	内 訳
1	いきいき健康教室	健康相談
2	伊丹市ラストホール	健康相談
3	うさぎ	健康相談／子育て支援
4	ひよこ 北センター	子育て支援
5	ひよこ ことば蔵	健康相談／子育て支援
6	共同利用施設鴻池センター	健康相談
7	県営南町高層住宅	健康相談
8	宝塚第一病院	健康相談
9	市営安倉南住宅	健康相談
10	市営安倉西住宅	健康相談
11	市営鳥島住宅	健康相談
12	大和地区	健康相談
13	協立温泉病院	健康相談
14	東谷公民館	健康相談
15	北陵集会所	健康相談
16	グリーンハイツ	健康相談
17	県営清和台東高層住宅	健康相談
18	県営下加茂高層住宅	健康相談
19	市営加茂桃源住宅	健康相談
20	イオン三田ウッディタウン	健康相談
21	篠山市民センター	健康相談
22	希望の家・きらめきワーク	健康相談
23	丹波の森ショッピングタウン（コモレ）	健康相談

神戸東部支部

窓口：神戸市市立医療センター中央市民病院 柴田 美由紀

	拠点名	内 訳
1	神戸市立東灘図書館	健康相談／子育て支援
2	コミュニティプラザ	健康相談
3	協の浜地域福祉センター	健康相談
4	兵庫医科大学看護学部	健康相談

神戸中部支部

窓口：三菱神戸病院 松本 妙子

	拠点名	内 訳
1	神大病院	防煙教室
2	川崎病院	健康相談
3	三菱神戸病院	健康相談
4	済生会兵庫県病院	健康相談／健康講座
5	しあわせの村温泉入口	健康相談／介護相談
6	JCHO 神戸中央病院	健康相談
7	すずらん病院	健康相談
8	ありま	健康相談

神戸西部支部

窓口：兵庫県立リハビリテーション中央病院 岸 典子

	拠点名	内 訳
1	神戸常盤大学 A	健康相談
2	神戸常盤大学 B	子育て支援
3	神戸常盤大学 はすいけデイサービス	健康相談
4	介護医療院よしだ	健康相談
5	まいこ会館	健康相談
6	狩口台住宅	健康相談
7	井吹台セリオホール	子育て支援
8	神戸市看護大学「健康支援」	健康相談
9	神戸市看護大学「子育て支援」	子育て支援
10	神戸市看護大学「こころと身体の看護相談」	こころの相談
11	神戸市看護大学「もの忘れ看護相談」	もの忘れ相談
12	総合リハビリテーションセンター	健康相談
13	いろは	健康相談

東播支部

窓口：高砂市民病院 臼井 直美

	拠点名	内 訳
1	兵庫県立大学 ボランティア看護師による健康相談	健康相談／子育て支援
2	兵庫県立大学 生活習慣病と足の看護相談	健康相談
3	県営明石清水第2 高層住宅	健康相談
4	ふれあいプラザ明石西	健康相談
5	西明石サポーティングファミリー	健康相談
6	コープこうべ大久保店	健康相談
7	加古川駅南子育てプラザ	健康相談／子育て支援
8	加古川市立総合体育館	健康相談
9	洲本街角サロン イオン洲本店	健康相談
10	まちの子育て広場	子育て支援
11	つな	健康相談
12	ほくたん	健康相談／子育て支援
13	あわじ	健康相談／介護相談
14	関西看護医療大学	健康相談
15		子育て支援

北播支部

窓口：西脇市立西脇病院 坂田 みどり

	拠点名	内 訳
1	西脇市立西脇病院クローバーの会	健康相談
2	道の駅みき	健康相談
3	白雲谷温泉 ゆぴか	健康相談
4	アスティア加西	健康相談
5	やしろショッピングパーク Bio	健康相談
6	なごみの里やまと	健康相談

西播支部

窓口：姫路赤十字病院 駒田 香苗

	拠点名	内 訳
1	コープ姫路田寺店	健康相談
2	こどもの館	子育て支援
3	城内図書館	健康相談／物忘れ相談
4	姫路獨協大学 看護学部	健康相談／子育て支援／介護相談
5	ライフコーポレーション福崎	健康相談
6	コープデイズ相生	健康相談
7	新宮図書館	健康相談
8	御津やすらぎ福祉会館	健康相談
9	赤とんぼ広場一番街	健康相談

	拠点名	内 訳
10	赤穂市民病院A	健康相談
11	赤穂市民病院B	健康相談
12	赤穂市民病院C	介護相談
13	赤穂はくほう会病院	健康相談
14	関西福祉大学	健康相談／子育て支援／介護相談
15	関西福祉大学 寺子屋	健康相談／子育て支援／介護相談
16	サキランドジャスコ	健康相談
17	ワークプラザすぎの木	健康相談
18	マックスバリュ佐用店	健康相談／子育て支援／介護相談

但馬支部

窓口：出石医療センター 福井 あけみ

	拠点名	内 訳
1	サNSTO館	健康相談／子育て支援
2	豊岡郵便局	健康相談
3	長寿園	健康相談
4	子育て総合センターなかよし広場	子育て支援
5	なかよしグングン広場	子育て支援
6	子育て広場 豊陵保育園	子育て支援
7	子育て広場 チャイルドハウス	子育て支援
8	子育て広場 城崎認定こども園	子育て支援
9	ショッピングタウンペア	健康相談
10	子育て広場 日光認定こども園	子育て支援
11	子育て広場 たいようこども園	子育て支援
12	枚田みのり保育園	子育て支援
13	子育て広場 照福こども園	子育て支援
14	たんぽぽの会	健康相談
15	明星認定こども園	子育て支援

兵庫県看護協会

窓口：事務局 中野 奈保子

	拠点名	内 訳
1	兵庫県看護協会	健康相談
2		子育て支援

拠点総数 111 拠点

「まちの保健室」拠点実績

支部名	拠点数	拠 点 名	内 容								ボラン ティア数	協賛者数	来所人数					来所人数(うちリピーター)					測定件数	相談・指導件数	体験及び啓発	合 計		
			健康相談	子育て支援	介護相談	講座	認知症対応型	体験	減災・防災	啓発			75才以上	65才以上	65才未満	子育て相談者	児童・学生・一般	総数	75才以上	65才以上	65才未満	子育て相談者					児童・学生・一般	総数
阪神南	1	園田学園キャンパスいきいき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	おおくま病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	協和マリナホスpital	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	西宮市大学交流センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	くまの介護医療院	3	0	0	2	0	0	0	0	13	9	21	5	1	0	0	27	8	4	0	0	0	12	152	27	0	179
	6	カンガルークラブ	1	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	96	0	96	0	0	0	38	0	38	0	46	0	46
	7	市営南芦屋浜団地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	阪神南合計		4	5	0	2	0	0	0	0	18	9	21	5	1	96	0	123	8	4	0	38	0	50	152	73	0	225
阪神北	1	いきいき健康教室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	伊丹市ラストホール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	うさぎ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	ひよこ 北センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	ひよこ ことば蔵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	共同利用施設 鴻池センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	県営南町高層住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8	宝塚第一病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	9	市営安倉南住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10	市営安倉西住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	11	市営鳥島住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12	大和地区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	13	協立温泉病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	14	東谷公民館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	15	北陵集会所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	16	グリーンハイツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	17	県営清和台東高層住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	18	県営下加茂高層住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	19	市営加茂桃源住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	20	イオン三田ウッディタウン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	21	篠山市民センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	22	希望の家・きらめきワーク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	23	丹波の森ショッピングタウン(コモレ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	阪神北合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
神戸東部	1	コミュニティプラザ	2	0	0	0	0	0	0	0	7	3	4	12	0	0	0	16	4	8	0	0	0	12	54	43	0	97
	2	脳の浜地域福祉センター	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	11	0	0	0	11	0	2	0	0	0	2	21	11	0	32
	3	兵庫医科大学看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	神戸市立東灘図書館	3	1	0	0	0	0	0	0	18	0	23	22	9	0	0	54	4	2	3	0	0	9	145	31	0	176
	神戸東部合計		6	1	0	0	0	0	0	0	28	3	27	45	9	0	0	81	8	12	3	0	0	23	220	85	0	305
神戸中部	1	神大病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	川崎病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	三菱神戸病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	済生会兵庫県病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	しあわせの村温泉入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	JCHO 神戸中央病院	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	120	55	0	0	175	0	0	0	0	0	0	0	12	0	12
	7	すずらん病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8	ありま	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	神戸中部合計		1	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	120	55	0	0	175	0	0	0	0	0	0	0	12	0	12

支部名	拠点数	拠 点 名	内 容								ボランティア数	協賛者数	来所人数						来所人数(うちリピーター)						測定件数	相談・指導件数	体験及び啓発	合 計	
			健康相談	子育て支援	介護相談	講座	認知症対応型	体験	減災・防災	啓発			75才以上	65才以上	65才未満	子育て相談者	児童・学生・一般	総数	75才以上	65才以上	65才未満	子育て相談者	児童・学生・一般	総数					
神戸西部	1	神戸常盤大学 A	1	0	0	0	0	0	0	0	6	8	0	65	30	0	0	95	0	0	0	0	0	580	445	0	1025		
	2	神戸常盤大学 B	0	1	0	0	0	0	0	0	5	8	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0	10	0	0	10			
	3	神戸常盤大学はすいけデイサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	4	介護医療院よしだ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	5	まいこ会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	6	狩口台住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	7	井吹台セリオホール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	8	神戸市看護大学「健康支援」	14	0	0	3	0	0	0	0	33	30	57	42	34	0	0	129	14	13	23	0	0	50	323	209	17	532	
	9	神戸市看護大学「子育て支援」	1	1	0	0	0	0	0	0	7	4	0	0	0	5	0	5	0	0	0	3	0	3	1	6	0	7	
	10	神戸市看護大学「こころと身体の看護相談」	0	0	0	2	1	0	0	0	4	1	12	3	21	0	0	36	2	1	2	0	0	5	0	3	0	3	
	11	神戸市看護大学「もの忘れ看護相談」	1	0	0	2	3	0	0	0	12	3	11	6	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7	
	12	総合リハビリテーションセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	13	いろは	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		神戸西部合計	17	2	0	7	4	0	0	0	67	54	80	116	85	11	0	288	16	14	25	3	0	58	914	670	17	1584	
東播	1	兵庫県立大学 ボランティア看護師による健康相談	8	0	0	0	0	0	0	0	30	0	25	22	20	0	0	67	24	14	1	0	0	39	387	176	0	563	
	2	兵庫県立大学 生活習慣病と足の看護相談	5	0	0	0	0	0	0	0	0	14	39	20	4	0	0	63	39	18	4	0	0	61	378	116	0	494	
	3	県営明石清水第2高層住宅	2	0	0	0	0	0	0	0	8	0	25	12	0	0	0	37	24	7	0	0	0	31	124	97	0	221	
	4	ふれあいプラザ明石西	3	0	0	0	0	0	0	0	11	2	34	32	5	0	0	71	21	14	2	0	0	37	285	130	0	415	
	5	西明石サポートングファミリー	3	0	0	0	0	0	0	0	8	0	34	3	2	0	0	39	18	2	0	0	0	20	61	7	0	68	
	6	コープこうべ大久保店	1	0	0	0	0	1	0	0	4	0	3	4	11	0	0	18	0	1	5	0	0	6	57	19	0	76	
	7	加古川駅南子育てプラザ	0	3	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	215	0	215	0	0	0	148	0	148	258	6	0	264	
	8	加古川市立総合体育館	3	0	0	0	0	0	0	0	11	2	10	15	27	0	0	52	7	9	23	0	0	39	182	49	0	231	
	9	洲本街角サロン イオン洲本店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10	まちの子育て広場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	11	つな	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12	ほくたん	4	0	0	1	0	0	0	0	8	4	28	0	0	0	0	28	25	0	0	0	0	25	55	66	0	121	
	13	あわじ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	14	関西看護医療大学 健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	15	関西看護医療大学 子育て支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		東播合計	29	3	0	1	0	1	0	0	88	22	198	108	69	215	0	590	158	65	35	148	0	406	1787	666	0	2453	
北播	1	西脇市立西脇病院 クローバーの会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	道の駅みき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	白雲谷温泉 ゆぴか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	アスティア加西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	やしろショッピングパークBio	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	なごみの里やまと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	北播合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
西播	1	コープ姫路田寺店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	こどもの館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	城内図書館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	姫路獨協大学 看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	ライフコーポレーション福岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	コープデイズ相生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7	新宮図書館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8	御津やすらぎ福祉会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	9	赤とんぼ広場一番街	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	赤穂市民病院A 健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	赤穂市民病院B 健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

支 部 名	拠 点 数	拠 点 名	内 容								ボ ラ ン テ ィ ア 数	協 賛 者 数	来所人数					来所人数（うちリピーター）					相 談 ・ 指 導 件 数	体 験 及 び 啓 発	合 計			
			健康相談	子育て支援	介護相談	講座	認知症対応型	体験	減災・防災	啓発			75才以上	65才以上	65才未満	子育て相談者	児童・学生・一般	総数	75才以上	65才以上	65才未満	子育て相談者				児童・学生・一般	総数	測定件数
西 播	12	赤穂市民病院C 介護相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	13	赤穂はくほう会病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	14	関西福祉大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	15	関西福祉大学 寺子屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	16	サキランドジャスコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	17	ワークプラザすぎの木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	18	マックスバリュ佐用店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
西播合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
但 馬		サNSTO館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		豊岡郵便局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	長寿園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	子育て総合センター なかよし広場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	なかよしグングン広場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	子育て広場 豊陵保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7	子育て広場 チャイルドハウス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8	子育て広場 城崎認定こども園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	9	ショッピングタウンペア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10	子育て広場 日光認定こども園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	11	子育て広場 たいようこども園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12	枚田みのり保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	13	子育て広場 照福こども園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	14	たんぱぽの会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	15	明星認定こども園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	但馬合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
協 会	1	看護協会 健康相談	46	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6	0	0	0	11	0	1	0	0	0	1	26	30	0	56
	2	看護協会 子育て	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
協会合計			46	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6	0	0	0	11	0	1	0	0	0	1	26	30	0	56	
総合計			103	11	0	10	4	1	0	0	205	90	331	400	219	322	0	1268	190	96	63	189	0	538	3099	1536	17	4635

「まちの保健室」 出前隊実績

活動内容等記載項目	阪 神 南	阪 神 北	神 戸 東 部	神 戸 中 部	神 戸 西 部	東 播	北 播	西 播	但 馬	看 護 協 会	総 数
出前隊件数(件)	54	0	0	4	14	11	2	0	7	1	93
延べ活動ボランティア数(名)	102	0	0	11	19	38	10	0	27	0	207
来所者数(名)	944	0	0	227	82	377	98	0	166	11	1905

※「まちの保健室」特別電話相談 26件

「まちの保健室」 ボランティア表彰

支 部	功 績
阪 神 南	神谷 裕子（市立芦屋病院） 長年、阪神南地区の支部活動においてご尽力頂いている。このコロナ感染状況がある中も「まちの保健室」に対して地域住民のためとリーダーシップを取り活躍していただいた。
阪 神 北	田川 幸子 平成 17 ～ 27 年度まで、伊丹市「まちの保健室」ボランティアに参加し、鴻池センターへ毎月 1 回訪問活動に参加された。平成 18 年には「南花屋敷の風」を開設し、月 2 回開設し近隣住民に対して健康相談・健康講話・測定など活動にご尽力いただいた。
神戸東部	山本 久美（神鋼記念病院） 平成 30 年から「まちの保健室」委員メンバーとなり、令和元年から 2 年間はコーディネーターとして貢献されました。現在もボランティアの一員としてご尽力いただいています。
神戸中部	河本 顕子（すずらん病院） 平成 26 年にボランティア登録し、平成 28 ～ 29 年度は、「まちの保健室」委員長としてご尽力されました。現在もボランティアとして自施設であるすずらん病院で、拠点活動や出前隊活動を継続されている。また、「健康相談に参加された方が、健康への心配を少しでも軽減し、安心できる生活を送れたらいいなあ」という思いから、気軽に相談できる場として広報活動を行い、拠点や出前隊活動に積極的に参加され中心的役割を担っている。
神戸西部	尾畠 直子（野瀬病院） 平成 25 年からボランティア登録し、令和元年～2 年度は、神戸西部支部「まちの保健室」委員として活躍されました。出前隊を主に活動し、病院看護部長としてボランティア参加者を募り、自身も積極的にされました。
東 播	吉本 誠（明石市立市民病院） 平成 29 年より感染制御実践看護師として、院内の感染対策上の問題解決に積極的に取り組み成果を上げている。COVID-19 に関して明石市内高齢化施設への感染対策助言活動として、指導や感染予防対策研修を実施し、保健所と連携しながら地域医療や介護の現場に貢献している。「まちの保健室」活動では、フェーズに応じた対応の助言や開催可否などの相談役として支援を行い、イベントにおいて感染予防啓発のブースを担当し「まちの保健室」に貢献している。
北 播	大原 由子（加東市民病院） 「まちの保健室」委員として、新型コロナウイルス感染症感染拡大の中にあっても、中か工夫して看護の日のイベントやまちの保健室の開催ができなかと委員同士模索することで、「まちの保健室」の意義を明確にした。また、「まちの保健室」委員長として感染拡大期の委員会事業遂行に努め、積極的に「まちの保健室」の開催を可能にするため、各拠点の物品点検や手順書作成等にリーダーシップを発揮し完成させた。
西 播	山本 礼子（姫路中央病院） 平成 29 年度より「まちの保健室」委員に就任。18 か所の拠点と出前隊による活動を積極的に実施してきた。平成 30 年度には委員長に就任し、委員会活動にご尽力された。ここ 2 年間は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により活動を制御されているが、現在も委員として冷静かつ積極的に委員会を牽引されている人材である。
但 馬	橋本あゆみ（朝来医療センター） 平成 30 年度より但馬支部「まちの保健室」委員となり、令和 2 年度からは支部委員代表として、「まちの保健室」委員会委員に出席し、全県の状況把握と県事業の運営に関わる。支部委員会の活動では、リーダーシップを取り積極的にアイデアを出し活動の幅を広げた。また、市民向けの普及啓発・健康相談、保育園などに出向き少子化の進む地域での子育てに悩み孤立する若い母親を支援するなど、「まちの保健室」活動にご尽力された。

「まちの保健室」委員会

西原 勝彦	兵庫医科大学病院	(阪 神 南)
石原 美智子	自衛隊阪神病院	(阪 神 北)
内藤 啓子	神戸赤十字病院	(神戸東部)
高田 ゆかり	顕修会すずらん病院	(神戸中部)
総毛 薫	なでしこレディースホスピタル	(神戸西部)
瀧野 都	順心淡路病院	(東 播)
野田 保代	服部病院	(北 播)
藤田 もとみ	市川町保健福祉センター	(西 播)
武縄 幸子	公立豊岡病院組合立出石医療センター	(但 馬)
森 優子	加古川市役所	
中前 日里	兵庫県健康福祉部健康局健康増進課	
大迫 しのぶ	公益社団法人 兵庫県看護協会	
中野 奈保子	公益社団法人 兵庫県看護協会	

「まちの保健室」支部コーディネーター

池 信 はつ子	(個人)	(阪 神 北)
林 初代	兵庫県立淡路医療センター	(阪 神 北)
鎌田 洋子	(個人)	(阪 神 北)
青山 りか	市立川西病院	(阪 神 北)
池田 由美	神戸市立医療センター中央市民病院	(神戸東部)
船越 美香	社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院	(神戸東部)
松本 友紀	兵庫県立リハビリテーション中央病院	(神戸西部)
平松 由美子	(個人)	(東 播)
中野 由美	(個人)	(東 播)
高田 としみ	(個人)	(北 播)
大岩 留理子	(個人)	(西 播)
原田 琥珀美	(個人)	(但 馬)
西垣 悦代	(個人)	(但 馬)

編集後記

新型コロナウイルス感染症感染対策のマスク着用は、令和5年3月13日より個人の判断によるところとなり、令和5年5月には、5類感染症に移行となります。

県民の皆様は、今まで長期間の自粛生活で運動不足や受診控えが考えられ、また健康不安があっても相談先がなく困っておられる方もいたことと思います。

まちの保健室看護ボランティアとしてご登録いただいている皆様におかれましては、感染者数が減少しても引き続き現場での感染症対応にあたられていることに、あらためて感謝申し上げます。

令和4年度の支部における『まちの保健室』活動は、感染対策を取り、実施できた拠点がコロナ前に比べ昨年度10%から令和4年度20%まで回復しました。閉鎖する拠点がある一方で、図書館や教会での新規拠点活動がありました。久々に『まちの保健室』を開催した拠点では、来場者から心待ちにしていたとお声をいただき、参加ボランティアのモチベーション向上につながったという嬉しい報告もありました。

看護職の皆様には、まちの保健室委員会で作成した「まちの保健室」体験動画を活用し、初めてのボランティア活動に是非参加いただきたいと思います。

兵庫県下で感染が収束し、『まちの保健室』で再会できることを楽しみにしております。

最後になりましたが、令和4年度『まちの保健室』報告書の編集にあたりご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

令和4年度「まちの保健室」事業報告書

令和5年5月 発行

発 行 公益社団法人兵庫県看護協会

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目6番24号

電話 078-341-0255（直） FAX 078-361-6652
